

同じ資質・能力の単元を学校生活場面で接続する指導計画の作成

実践場面

小学校第2学年

「身に付けた資質・能力の次単元での活用・発揮に向け、学校生活の中で実際に使ってみる場面」

ねらい

目標に据えた資質・能力は一つの単元の学習では獲得できず、同領域にて繰り返し学習することで児童に身に付く。そこで学校生活で活用・発揮する場면을意図的に設け、単元間をつなぐ手立てとする。

【アイディアのポイント】

「学習→生活」の活用・発揮で終わるのではなく、「学習→生活→学習…」と、三つの単元を生活場面での利用で貫くことで、資質・能力の確実な定着と活用・発揮が行われるようにする。

月	教材名	知識及び技能	学習指導要領の内容		
			思考力、判断力、表現力等		
			A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと
4	じゅんぼんにならぼう／つづけてみよう	(1)ア(2)ア	(1)エ	(1)ア(2)イ	
	ふきのとう	(1)ク			(1)イ(2)イ
	図書館たんけん	(3)エ			
	春がいっぱい	(3)ア		(1)ア(2)ア	
	きょうのできごと	(1)ア・オ		(1)ア・ウ・エ (2)イ	
	ともだちをさがそう	(1)イ	(1)エ(2)ア		
5	いなばの白うさぎ	(1)ア(3)ア			
	たんぼぼのちえ [じょうほう] じゅんじょ	(1)ク(2)ア			(1)ア・ウ(2)ア
	かんさつ名人になろう	(1)オ		(1)ア・イ・オ (2)ア	
	同じぶぶんをもつかん字	(1)エ			
6	うれしいことば	(1)ア		(1)ア・ウ	
	かん字のひろば①	(1)ウ・エ		(1)ウ	
	スイミー	(1)オ			(1)イ・エ(2)イ
	かたかなのひろば	(1)ウ		(1)ウ	
	[じょうほう] メモをとるとき	(1)ア		(1)ア	
	こんなもの、見つけたよ [コラム] 丸、点、かぎ	(1)ア・ウ		(1)イ・ウ・オ (2)ア	
あったらいいな、こんなもの	(1)ア・キ	(1)ア・ウ・エ (2)ア			

「小2指導事項と授業時数の配当（光村図書）」を基に作成



「話すこと・聞くこと」の単元は、バランスよく配置されている。



資質・能力を生活場面でも使うことができれば、次単元での活用・発揮がスムーズになるのでは。



生活場面で定着を図り、単元と単元とをつなぐ手立てを考えてみよう。

ステップ1 単元の目標の確認

三つの各単元の目標に据える指導事項（話すこと・聞くこと
の資質・能力）を確認します。

「じゅんばんにならぼう」

自分が聞きたいことを聞き落とさないよう集中して聞くことができる。

（思考力・判断力・表現力等A(1)工）

「ともだちをさがそう」

聞く上で何が大事なことを考え、そのことについて聞き落とさないよう集中して聞くことができる。

（思考力・判断力・表現力等A(1)工）

「あったらいいな、こんなもの」

話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを聞き落とさないよう集中して聞くことができる。

（思考力・判断力・表現力等A(1)工）

ステップ2 学習活動の検討

三つの各単元の目標の達成に向けた核となる学習活動を検討します。

「じゅんばんにならぼう」

- ・ 話の中で一番大事なことを確認する
- ・ 声を掛け合って目的を達成する

「ともだちをさがそう」

- ・ 大事なことは何かを考える
- ・ 大事なことをメモする

「あつたらいいな, こんなもの」

- ・ 詳しく考えるために質問する (質問を考える。答えを基に考える)

ステップ3 生活場面との接続

身に付けた資質・能力を生活場面でも使えるようにするため
学習と生活を接続させる手立てを検討します。

「大事なことを確認する」
今日の予定を朝の会で日直が伝え、全員で確認する。

「大事なことをメモする」
myメモ帳を携帯し、様々な場面でメモをする習慣を付ける。

「詳しく考えるために質問する」
帰りの会の際、班で今日の振り返りを基に明日の目標を立てる話し合いを行う。

ステップ4 三つの単元の構想(イメージ)

単元1「じゅんばんにならぼう」

【核となる活動】
条件通りに正確に並ぶ方法を考えて、実際に試してみる。
〔身に付ける資質・能力〕
・大事なことを確認しながら聞く
・声を掛け合いながら実現する

生活場面での活用・発揮

日直による、朝の会での日程確認

単元2「ともだちをさがそう」

【核となる活動】
「お知らせ」を聞き、挿絵の中から迷子を探す。
ここで定着を図ってきた単元1での資質・能力を活用・発揮させる
〔身に付ける資質・能力〕
・大事なことはメモをとりながら聞く

生活場面での活用・発揮

myメモ帳を使った、「大事なことチェック」

単元3「あったらいいなこんなもの」

【核となる活動】
質問をし合いながら、あったらいいなと思うものを考える。
ここで定着を図ってきた単元1・2での資質・能力を活用・発揮させる
〔身に付ける資質・能力〕
・質問をし合いながら詳しく考える
(質問を考える・答えを基に再考する)

生活場面での活用・発揮



これで確実に資質・能力が身に付き汎用化も図られそうだ。